

BG 56, 66, 86, SH 56, 86

STIHL



2 - 22 取扱説明書



目次

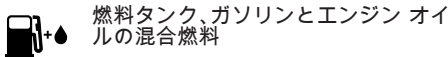
1	はじめに.....	2
2	使用上の注意および作業方法.....	2
3	ブロワーマシンの組み立て.....	7
4	バキューム シュレッダーの組み立て.....	9
5	燃料.....	10
6	給油.....	11
7	エンジンの始動と停止.....	12
8	エアフィルターの掃除.....	14
9	キャブレターの調整.....	15
10	スパークプラグ.....	15
11	エンジンの動作.....	16
12	機械の保管.....	16
13	整備表.....	17
14	磨耗の低減と損傷の回避.....	17
15	主要構成部品.....	18
16	技術仕様.....	19
17	整備と修理.....	20
18	廃棄.....	20
19	EC 適合証明書.....	20
20	UKCA 適合宣言.....	21
21	アドレス.....	22

1 はじめに

1.1 シンボルマークについて

機械に表示されているシンボルマークの意味は、本取扱説明書に説明されています。

対象の機種によっては、以下のシンボルマークが機械に表示されている場合があります。



手動燃料パージャーパープの操作



1.2 段落の前に付いたシンボルや数字



人に及ぼす事故やケガ、更に重大な物的損傷に対する警告。

注記

本機本体あるいは構成部位の損傷に対する警告。

1.3 技術改良

当社の信条として、常に自社製品の改良を心がけております。この理由から、製品の設計、技術、外観が定期的に改良される場合があります。

このため、変更、修正、改良の種類によっては、本取扱説明書に記載されていない場合があります。

2 使用上の注意および作業方法



パワーツールを使用して作業する際には、特別な安全対策が必要となります。



初めてご使用になる前に、必ず全ての取扱説明書をよく読んで理解し、必要な時に見られるように安全な場所に確実に保管してください。取扱説明書を遵守しないと生命を脅かすような怪我を負う可能性があります。

同業組合、社会保険組合、労働安全衛生当局など、現地の安全規制を遵守してください。

初めて本機で作業する場合：サービス店または経験豊富なユーザーに機械の操作方法についての説明を受けるか、その専門的な研修に参加してください。

未成年者は本機を使用しないでください。ただし、16歳以上の未成年者が監督下で訓練を受けている場合にはこの限りではありません。

作業場所に子供、動物、見物人を近づけないでください。

本機を使用しないときはスイッチを切って、他人に危険が及ばないようにする必要があります。本機が無断で使用されないように、安全に保管してください。

他者およびその所有物に対して生じた事故または危険に関しては、その一切の責任をユーザーが負うものとします。

本機は、本モデルとその取扱いに精通している人へのみ譲渡または貸与し、取扱説明書を必ず一緒に手渡してください。

騒音を発する機器の使用は、国や地域の規制によって使用時間が制限される場合があります。

すべての部品が損傷していない状態でのみ、本機を使用してください。

本機の清掃に高压洗浄機を使用しないでください。強力な水の噴流が、本機の部品を損傷する恐れがあります。

2.1 アクセサリーとスペアパーツ

STIHL が本機での使用を承認した、または技術的に同様の仕様に基づいたアクセサリーのみを使用してください。これに関してご不明な点がございましたら、サービス店にお問い合わせください。高品質の部品およびアクセサリーのみを使用

用してください。これを怠ると事故および本機の損傷につながるおそれがあります。

当社では STIHL 純正部品およびアクセサリのご使用をお勧めしています。これらは、お客様の製品およびご使用になる性能要件に合わせて、特別に設計されています。

安全性が損なわれる可能性がありますので、いかなる方法でも機械を改造しようとしないでください。STIHL は、承認されていないアタッチメントを使用した際の人的傷害および物的損害に対しては一切保証を行いません。

2.2 身体適性

本機で作業をする者は、十分に休息をとり、心身ともに健康で良好な状態でなければなりません。

健康上の理由で無理ができない人は、パワーツールを使った作業が可能かどうか、かかりつけの医師に相談してください。

ペースメーカーを付けている方のみ該当する注意点：本パワーツールのイグニッションシステムでは、微量の電磁界が発生します。ペースメーカーの種類によっては、影響が及ぶ可能性を完全に否定することはできません。健康上のリスクを軽減するため、STIHL では、かかりつけの医師またはペースメーカーの製造元に問い合わせることをお勧めしています。

アルコールや反射神経速度を鈍らせる可能性のある薬品あるいは薬物を服用した状態では、機械を操作しないでください。

2.3 正しい使用方法

ブローを使用すれば、落ち葉、草、紙などを庭園、スタジアム、駐車場や車寄せなどから取り除くことができます。山林の散策路に落ちている葉などを吹き飛ばす作業にも適しています。

さらにバキュームシュレッダーは、落ち葉やその他の軽くて分散している不燃性のゴミを吸い取るために設計されています。

健康に害のあるものを吹き飛ばしたり吸い取ったりしないでください。

本機をこれ以外の目的には使用してはならず、使用した場合は事故の発生やツールの損傷の危険が増大します。製品は改造しないでください。こうした行為も事故や製品の損傷の原因となる可能性があります。

2.4 衣服と装備

規定に沿った衣服と装備を身に付けてください。



衣服は、使用目的に適した作業の妨げにならないものでなければなりません。作業用のコートではなく、身体にびったりしたコンビスーツなどの作業服を着用してください。



衣服、スカーフ、ネクタイ、装身具のうち、吸気口に吸い込まれる可能性のあるものは着用しないでください。長い髪はまとめて、肩より上になるように固定します。

靴底が滑らず、頑強な作りの靴を履いてください。



警告



目の負傷の危険性を低減するため、EN 166 基準に準拠したしっかりとフィットする保護メガネを着用してください。保護メガネが正しくフィットしていることを確認してください。

「自分専用」のイヤーマフ（聴覚保護具など）を着用してください。

STIHL では、作業者の防護のために各種の作業用保護装備を提供しています。

2.5 機器の運搬

必ずエンジンを停止してください。

車両での運搬時：

- 適切に固定して、機器の転倒、破損、燃料漏れを防止してください

2.6 給油



ガソリンは非常に引火しやすい物質です - 火気のそばに置かないでください - 燃料をこぼさないでください - 喫煙しないでください。

給油前にエンジンを停止してください。

エンジンがまだ熱いうちは給油しないでください - 燃料が流れ出て、火災を起こす危険があります！

燃料タンクキャップは、過剰な圧力が徐々に抜けて、燃料が噴き出さないように、慎重に開けてください。

給油は風通しの良い場所で行ってください。燃料がこぼれた場合は機器を直ちに清掃してください - 衣服に付いた場合は直ちに着替えてください。



漏れていないか注意してください！漏れている場合はエンジンを始動しないでください - 火傷による命の危険があります！



給油後は、燃料タンクキャップを出来る限りしっかりと締め付けてください。

これにより、エンジンの振動により燃料タンクキャップが外れ、燃料が漏れ出すリスクを低減することができます。

2.7 始動前

機器が操作安全性を確保できる状態であることを確認します - 本取扱説明書の関連項目を参照してください：

- 燃料システムに漏れがないか点検します。特に燃料タンクキャップ、ホース接続部、手動燃料ポンプ（手動燃料ポンプ付きのパワーツールの場合のみ）などの目に見える部品を特に注意深く点検します。漏れや損傷がある場合は、エンジンを始動しないでください - **火災の危険があります！** 使用を開始する前に、機械の修理点検をサービス店に依頼してください。
- スロットルトリガーは、スムーズに動き、自動的にアイドル位置に戻らなければなりません。
- コントロールレバー/ボタンは、STOP または 0 に簡単に操作できる必要があります。
- ハンドルはオイルや汚れが付着していない清潔で乾いた状態に保ちます - これはパワーツールを安全に操作するために重要です。
- ブローシステムは規則に従って正しく取り付けられていなければなりません。
- スパークプラグターミナルがしっかりと差し込まれているかチェックします - 緩んでいる場合は火花が発生することがあり、燃料と空気の混合物に引火する可能性があります - **火災の危険があります！**
- ファンホイールとブローハウジングの状態を点検してください。

ブローハウジングに摩耗（亀裂、欠け）があると、異物が飛散して怪我をするおそれがあります。ブローハウジングが損傷している場合は、専門業者にご相談ください。STIHL では STIHL サービス店をお勧めしています。

操作部や安全装置を改造しないでください。

本機は、操作の安全性が確保されている状態でのみ操作することができます - **事故が生じる恐れがあります！**

2.8 エンジンの始動

給油場所から 3 メートル以上離れており、密閉空間以外の場所で行ってください。

本機は必ず一人で操作してください - 他の作業員が作業エリアに立ち入ることは始動時も禁じられています。

エンジンの「落としがけ」はしないでください - 取扱説明書に従って始動してください。

必ず平らな場所に置いてください。しっかりとした安全な足場を確保し、本機をしっかりと保持してください。

エンジンが始動した後は、気流の増大によって異物（石など）が飛散する可能性があります。

2.9 作業中

危険が迫っている時や緊急時には、直ちにエンジンを停止させます - コントロールレバー/ボタンを STOP または 0 にしてください。

本機は一人で操作してください - 他の作業員が作業エリアに立ち入ることは禁じられています。



作業員以外、半径 15 m 以内に立ち入ることは禁じられています - 飛散物によって**怪我をする危険があります！**

他の物体（車両、窓）からもこの距離を保ってください - **物的損害が生じる危険があります！**



ブローを人や動物に向けて吹き付けることは絶対にお止めください - 本機が小さな物体を高速で巻き上げる可能性があります - **怪我をする恐れがあります！**

ブローやバキュームシュレッダーを使用して（屋外や庭で）作業する際は、小動物に注意して、動物が危険にさらされないようにしてください。

本機を作動させたまま、絶対に本機から離れないでください。

滑りやすい場所、濡れた地面、雪、氷、傾斜や凸凹のある地面などに注意してください - **スリッパする危険があります！**

ゴミ、切り株、根、溝渠などの障害物に注意してください - **つまづく危険があります！**

はしこの上や不安定な場所では作業しないでください。

イヤープロテクター（聴力保護）を装着している場合は、より高い注意力が必要で - 危険を告げる音（叫び声、警笛など）が聞こえにくくなります。

日中のみ、十分な視界のある場所で、冷静かつ思慮深く作業してください。他人に危険が及ばないように慎重に作業します。

疲労が蓄積しないように、適切な時期に休息をとってください - **事故の恐れがあります！**

触媒コンバータ付きマフラーは特に高温になることがあります。



パワーツールからは、エンジンが始動すると**有毒な排気ガス**が排出されます。このガスは、無臭で目に見えないことがあり、未燃焼の炭化水素とベン

ゼンを含んでいることがあります。室内や換気状態の悪い場所では、絶対にエンジンをかけないでください。触媒コンバータが装着されている機種でも同様です。

溝、くぼ地、あるいは狭い場所で作業する時には、適切な換気を確保してください - **中毒による命の危険があります！**

気分が悪い、頭痛、視覚障害（視野狭窄など）、聴覚障害、めまい、注意散漫などの状態になった場合は、作業を即座に中止してください - これらの症状は、作業場に過度に高濃度の排気ガスが存在する場合に発生することがあります - **事故の恐れがあります！**

本機の使用中およびその近くでは喫煙しないでください - **火災の危険があります！** 燃料システムから引火性のガソリン蒸気が漏れる恐れがあります。

塵埃が発生する場所では、常に防塵マスクを着用してください。

パワーツールは最小限の音と排気ガスが出るように操作してください - 不必要にエンジンを始動せず、作業時のみエンジンを加速します。

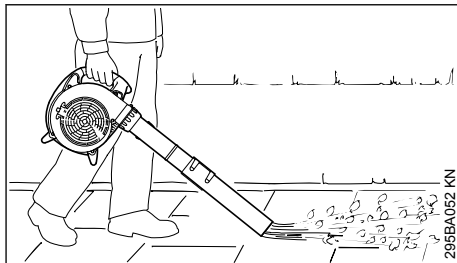
作業後は、本機を平坦で燃えにくい場所に置いてください。着火しやすい物質（木屑、樹皮、乾燥した草、燃料など）の近くには置かないでください - **火災の危険があります！**

シールドやノズルからブローハウジング内部に物を押し込まないでください。ブローからこれらの物体が高速で噴出する可能性があります - **怪我をする恐れがあります！**

動作に目立った変化が認められる場合（振動が大きくなるなど）は、作業を停止し、変化が生じた原因を解消してください。

本機に設計強度を超える異常な負荷（激しい衝撃や落下など）がかかった場合は、作業を続ける前に操作の安全性を確保できる状態にあることを必ず確認してください - 「始動前」の項目も参照してください。特に、燃料システムに漏れがないことを確認し、安全装置が正しく機能していることを確認してください。安全な状態にない機器は絶対に使用しないでください。ご不明な点がございましたら、サービス店にお問い合わせください。

2.10 ブローの使用



このブローは片手操作です。操作者が右手でコントロールハンドルを持って持ち運ぶ必要があります。

パワーツールは手で常にしっかりと保持してください。

屋外や庭でブローで作業する際は小動物に注意してください。

必ずゆっくり前進しながら作業してください。ブローチューブの出口領域を常に監視してください。後退しないでください。躓く危険があります！



警告

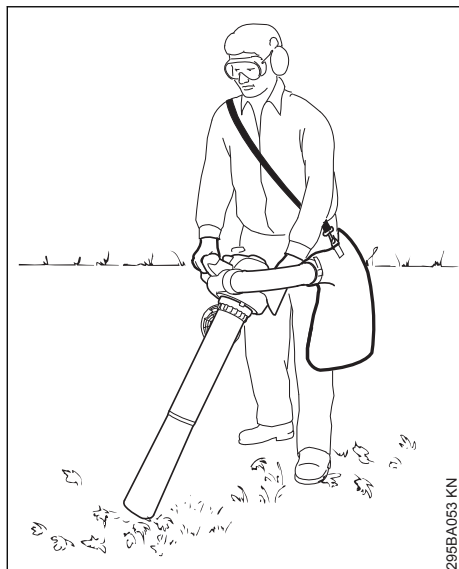
本機は必ずブローチューブを完全に装着した状態で使用してください - **怪我をする恐れがあります！**

ラウンドノズルは、凹凸のある地面（草地や芝生など）での使用に特に適しています。

フラットノズル（同梱、そうでない場合は特殊アクセサリーとして入手可能）からは、平らな気流が発生し、特におがくず、落ち葉、刈り取った草などで覆われた平らな表面を的を絞って制御しながら吹き飛ばすために使用できます。

2.11 吸引装置の使用

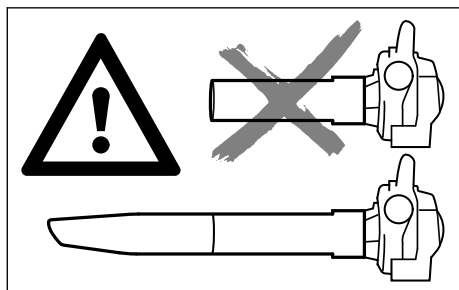
本取扱説明書の関連する章に記載されている設置方法を遵守してください。



295BA053 KN

バキュームシュレッダーは両手で操作するために設計されています。操作者は右手でコントロールハンドル、左手でハウジングのハンドルを握って持ち運ぶ必要があります。

集塵バッグのハーネスを片方の肩に掛けます。緊急時に機器を素早く身体から離せるように、集塵バッグを付けたまま機器を下に置く練習をしてください - **怪我をする恐れがあります！**



警告

本機は必ずサクシオンパイプを完全に装着し、集塵バッグを閉めた状態で使用してください - **怪我をする恐れがあります！**

注記

摩損の原因となる物体（砂利、石など）を吸引すると、ブローホイールとブローハウジングが特に激しく摩耗します。このような摩耗の特徴は、吸引力の急激な低下です。この場合、専門業者にご相談ください。STIHLではSTIHLサービス店をお勧めしています。

濡れた落ち葉を吸い込むと、ブローやマニホールドが詰まることがあります。

機器の詰まりを解消する方法：

- 機器のスイッチをオフにします。
- マニホールドとサクシオンパイプを取り外します - 「バキュームシュレッダーの組み立て」を参照。
- マニホールドとブローハウジングを清掃します。

屋外や庭で吸引する際は小動物に注意してください。



高温または燃えている物質（熱い灰、くずぶつているタバコなど）は吸い取らないでください - **火災による怪我の危険があります！**



可燃性液体（燃料など）や可燃性液体に浸した材料は、絶対に吸引しないでください - **火災や爆発により致命傷を負う危険があります！**



シールドを開ける前にエンジンを停止してください。サクシオンパイプが取り付けられていないときは、シールドを常に閉めて固定してください - **怪我をする恐れがあります！**さらに、エンジンに損傷を与える恐れがあります。

2.12 作業方法

清掃時間を短縮するために、清掃作業を開始する前に、熊手や箒でゴミを除去しやすくしておきます。

- 必要に応じて、掃除する範囲の表面に水を撒き、埃が立ちすぎないようにします。
- 見物人（特に子ども）、ペット、開いている窓、洗車したばかりの自動車の方向にゴミを吹付けないようにしてください。それらの状況では、特に注意してください。
- 吹き寄せたゴミは、ゴミ箱に捨てます - 隣人の敷地に吹き出したりしないでください。

- 本機は、他の人に迷惑がかかることのある早朝、深夜、昼食休憩時間などを避け、道理に合った時間帯にご使用ください。地域の休憩間隔に関する規制を順守してください。
- 作業実施に必要な最低限度のエンジン回転数で、ブロワーをご使用ください。
- 作業開始前にお使いのブロワーの状態を点検します。特にマフラー、エア インテークおよびエア フィルターに注意してください。

2.13 振動

パワーツールを長時間使用した場合には、振動の影響により手の血行不良が生じることがあります(「白ろう病」)。

以下をはじめ、多くの事柄が影響するため、一般的な使用時間の設定は不可能です。

以下の対策をとると使用時間を延長できます：

- 常に手を温めておく
- 休憩を取りながら作業する

以下の場合には使用時間を短くします：

- 血行不良の特殊体質(症状：指がよく冷たくなる、しびれ)。
- 低い気温。
- 握む力の強さ(強く握りしめると、血行が低下します)。

機械を定期的に長時間使用したり、該当する症状(指のしびれ等)が繰り返し発症する時は、医師による診断をお薦めします。上記のいずれかの症状が現れたら(指が疼くなど)、医師にご相談ください。

2.14 整備と修理

定期的に本機を整備してください。取扱説明書に書かれている整備や修理だけを行ってください。その他すべての作業はスチール サービス店に依頼してください。

当社では整備や修理を、認定を受けたスチール サービス店のみに依頼されることをお勧めします。スチール サービス店には定期的にトレーニングを受ける機会が与えられ、必要な技術情報の提供を受けています。

高品質の交換部品のみを使用して、事故および本機の損傷を回避してください。これに関して、不明な方はスチール サービス店へお問い合わせください。

当社ではスチール純正交換部品のご使用をお勧めします。これらは、お客様の機種およびご使用になる性能要件に合わせて、特別に設計されています。

ケガの危険を回避するために、本機の保守、修理、または掃除を実行する前に、**エンジンを必ず**

切ってください。 - 例外：キャブレター及びアイドリング回転数の調整時は例外です。

スパークプラグターミナルまたはスパークプラグを外した状態で、スターターを作動しないでください。火花を抑制できずに**火災が発生する可能性があります。**

火気の近くで、本機を整備したり、保管しないでください。

燃料フィルター キャップにもれがないか定期的に点検してください。

当社で承認されたタイプで、支障なく作動するスパークプラグだけを使用してください(「技術仕様」の項を参照)。

イグニッション ケーブルに異常がないこと(良好な絶縁状態、接続の確実性)を確認してください。

マフラーに異常が無いことを確認してください。

火災の危険や聴覚障害を避けるために、破損したマフラーを取付けたまま、あるいはマフラーがないまま作業しないでください。

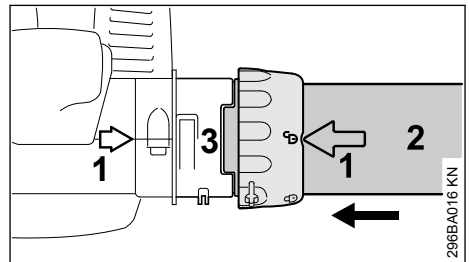
高温のマフラーに触れて、**火傷**しないようにしてください。

振動の強さは、防振部品の状況に左右されます - 定期的に防振部品を点検してください。

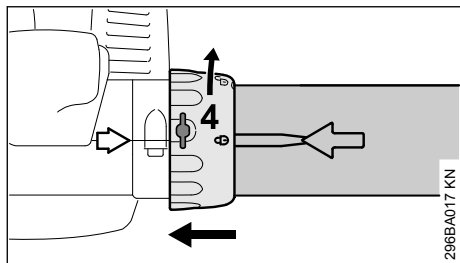
問題を解消しようとする前に、エンジンを停止してください。


3 ブロワーマシンの組み立て

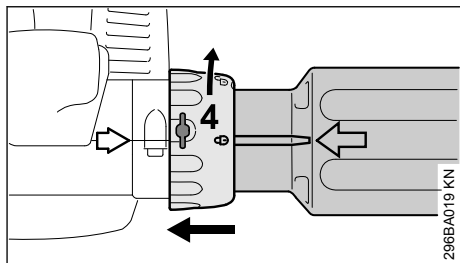
3.1 ブロワー チューブの取付け




- ▶ 矢印 (1) を揃えます。
- ▶ ユニオン ナットの位置を、シンボル、が矢印と揃うように合わせます。
- ▶ ブロワー チューブ (2) を、ファン ハウジングの根本 (3) に止まるまで押し込みます。

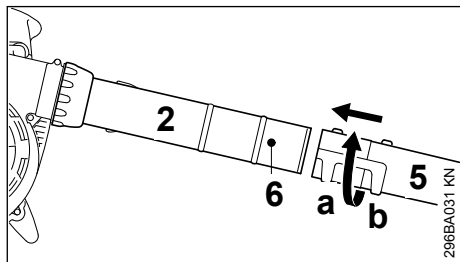


- ▶ ユニオン ナット (4) を、ファンハウジングの根本に止まるまで押し込みます。
- ▶ ユニオン ナット (4) を、シンボル  が矢印と揃うまで、矢印の方向に回します - ユニオン ナットは、カチッと音がして所定の位置にはめ込まれます。

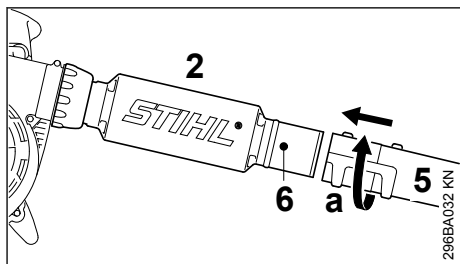


- ▶ ユニオン ナット (4) を、ファンハウジングの根本に止まるまで押し込みます。
- ▶ ユニオン ナット (4) を、シンボル  が矢印と揃うまで、矢印の方向に回します - ユニオン ナットは、カチッと音がして所定の位置にはめ込まれます。

BG 56、BG 86、SH 56、SH 86



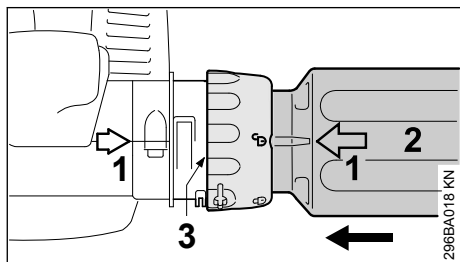
- ▶ ノズル (5) をブロー チューブ (2) の突起 (6) に、位置 (a) (長い場合) または位置 (b) (短い場合) まで押し込み、矢印の方向に回して所定の位置にロックします。




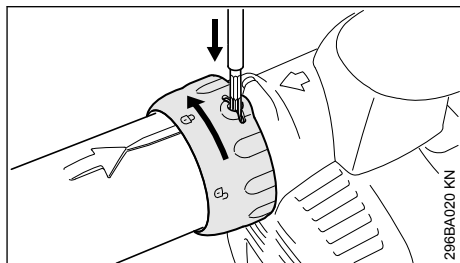
- ▶ ノズル (5) を、ブロー チューブ (2) の所定の位置 (a) に突起 (6) まで押し込み、矢印の方向に回して所定の位置にロックします。

3.2 ブロー チューブの取外し

BG 66



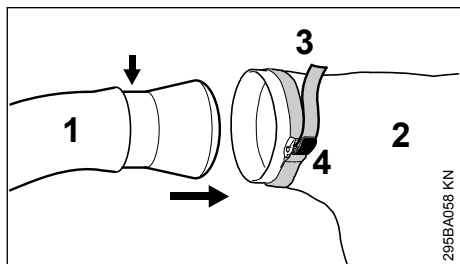
- ▶ 矢印 (1) を揃えます。
- ▶ ユニオン ナットの位置を、シンボル  が矢印と揃うように合わせます。
- ▶ ブロー チューブ (2) を、ファンハウジングの根本 (3) に止まるまで押し込みます。



- ▶ エンジンを停止します。
- ▶ 適切なツールをユニオン ナットの開口部に差し込み、タブを押し込みます。
- ▶ ユニオン ナットを、矢印の方向に止まるまで回します。
- ▶ ブロー チューブを取り外します。

4 バキューム シュレッダーの組み立て

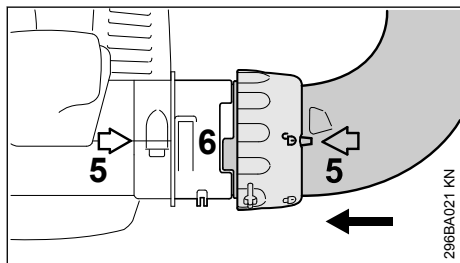
4.1 エルボーの取り付け



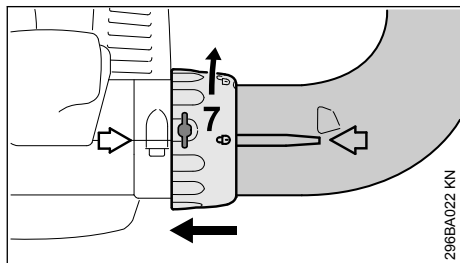
- ▶ エルボー (1) を集塵バッグ (2) に、マーク (小さな矢印) まで押し込みます。
- ▶ 集塵バッグのストラップ (3) を締め付け、タブ (4) を押し込みます。


注記

集塵バッグのチャックが閉じていることを確認します。



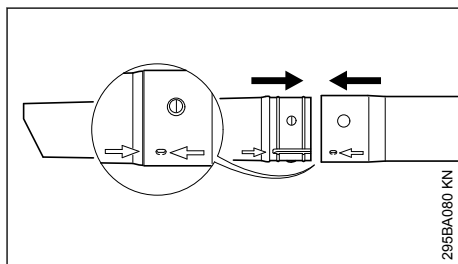
- ▶ 矢印 (5) を揃えます。
- ▶ ユニオン ナットの位置を、シンボル、が矢印と揃うように合わせます。
- ▶ エルボーを、ファンハウジングの根本の溝 (6) に止まるまで押し込みます。



- ▶ ユニオン ナット (7) を、ファンハウジングの根本に止まるまで押し込みます。
- ▶ ユニオン ナット (7) を、シンボル  が矢印と揃うまで、矢印の方向に回します - ユニオンナ

ットは、カチッと音がして所定の位置にはめ込まれます。

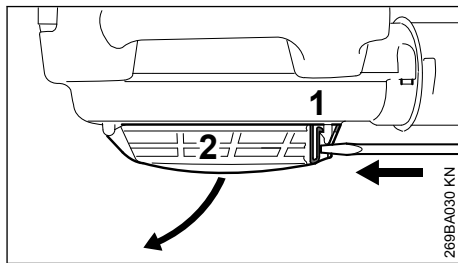
4.2 吸引チューブの組立て



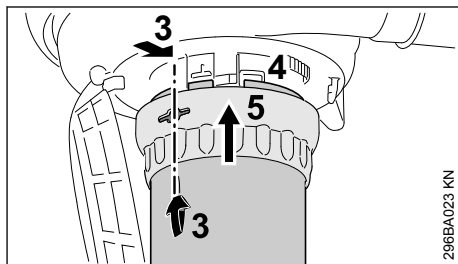
- ▶ 吸引チューブと延長チューブの矢印を揃えます。一緒に押し込み、所定の位置で固定します。

4.3 吸引チューブの取付け

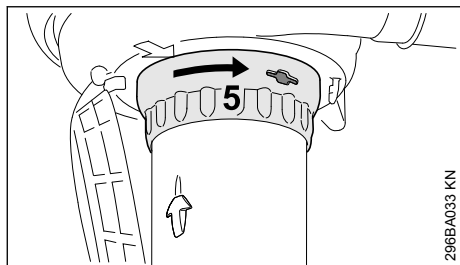
- ▶ エンジンを停止します。



- ▶ タブ (1) にスクリウドライバーを差し込み、押し下げて、インテークスクリーン (2) のかみ合わせを外して、インテークスクリーンを開きます。



- ▶ 矢印 (3) を揃えます。
- ▶ ユニオン ナット (5) の位置を、開口部が矢印 (3) に揃うように、合わせます。
- ▶ 吸引チューブを、ファンハウジングの根本 (4) に止まるまで押し込みます。
- ▶ ユニオン ナット (5) をファンハウジングに押し込みます。

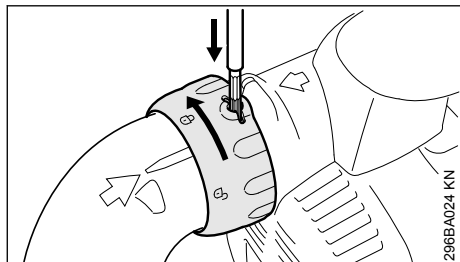


296BA033 KN

- ▶ ユニオン ナット (5) を矢印の方向に、カチツと音がして所定の位置にはまるまで、回します。
- ▶ ユニオン ナットを矢印の方向に回し続けて、しっかり締め付けます。

4.4 エルポーを取り外します。

- ▶ エンジン进行を停止します。

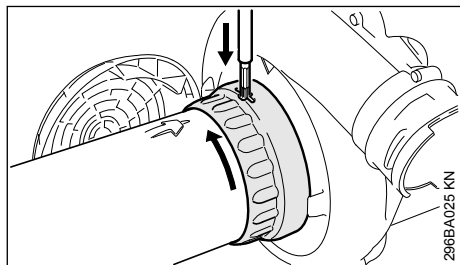


296BA024 KN

- ▶ 適切なツールをユニオン ナットの開口部に差し込み、タブを押し込みます。
- ▶ ユニオンナットを、矢印の方向に止まるまで回します。
- ▶ エルポーを取り外します。

4.5 吸引チューブの取り外し

- ▶ エンジン进行を停止します。



296BA025 KN

- ▶ ユニオンナットを、矢印の方向に止まるまで回します。
- ▶ 適切なツールをユニオン ナットの開口部に差し込み、タブを押し込みます。
- ▶ ユニオンナットを、矢印の方向に次に止まるまで回し続けます。
- ▶ 吸引チューブを取り外します。

- ▶ インテーク スクリーンを閉じて、所定の位置にロックします。

5 燃料

エンジンには、ガソリンとエンジンオイルの混合燃料が必要です。



警告

燃料に直接触れたり、ガソリンの気化ガスを吸い込んだりしないよう注意してください。

5.1 STIHL MotoMix (モトミックス)

STIHL 社では、STIHL MotoMix の使用をお勧めしています。このあらかじめ混合された燃料はベンゼンや鉛を含まず、高オクタン価を特徴とし、常に適切な混合比をもたらします。

STIHL MotoMix には、エンジン寿命を最大化するために STIHL HP Ultra 2 ストロークエンジンオイルが使用されています。

MotoMix は、販売されていない市場もあります。

5.2 燃料の混合

注記

仕様と異なる不適切な燃料や混合比を用いると、エンジンに重度の損傷が生じるおそれがあります。低品質のガソリンやエンジンオイルは、エンジン、ガスケット、燃料ライン、燃料タンクを損傷させることがあります。

5.2.1 ガソリン

オクタン価が 90 以上の高品質ガソリンだけを使用してください。無鉛、有鉛は問いません。

アルコール濃度が 10% を超えるガソリンは、手動調整可能キャブレター付きエンジンではエンジン性能を低下させるおそれがあるため、そうしたエンジンには使用しないでください。

M-Tronic 搭載エンジンは、アルコール濃度が 27% までのガソリン(E27)を使用して本来の性能を発揮します。

5.2.2 エンジンオイル

ご自身で燃料を混合する場合は、STIHL 2 ストロークエンジンオイルまたは JASO FB、JASO FC、JASO FD、ISO-L-EGB、ISO-L-EGC あるいは ISO-L-EGD に準拠する他の高性能エンジンオイルを使用してください。

機械が寿命に達するまでの全期間で排ガス基準が満たされるよう、STIHL 社では STIHL HP Ultra(ウルトラ) 2 ストロークエンジンオイルま

たは同等の高性能エンジンオイルの使用を指定しています。

5.2.3 混合比率

1:50 の比率で STIHL 2 ストロークエンジン オイルとガソリンを混合してください (オイル 1 に対してガソリン 50)。

5.2.4 例

ガソリン量 リットル	STIHL 2 ストロークエンジンオイル 1:50 リットル (ml)
1	0.02 (20)
5	0.10 (100)
10	0.20 (200)
15	0.30 (300)
20	0.40 (400)
25	0.50 (500)

- ▶ 承認されている安全な燃料容器にオイルを注入してからガソリンを加え、完全に混ぜ合わせます。

5.3 混合燃料の保管

燃料は承認されている安全な燃料容器に入れ、乾燥して涼しく、安全な、照明や太陽光から保護された場所に保管します。

混合燃料は時の経過に伴って劣化します - 数週間分の必要量だけを混合してください。混合燃料は 30 日以上保管しないでください。照明、太陽光、低温、高温にさらすと、混合燃料はより短時間で使用できなくなることがあります。

STIHL MotoMix は、問題なく最長 5 年間保管することができます。

- ▶ 混合燃料が入った容器(携行缶)をよく振ってから給油してください。



警告

携行缶の内圧が高まっている可能性があるため、キャップは慎重に開けてください。

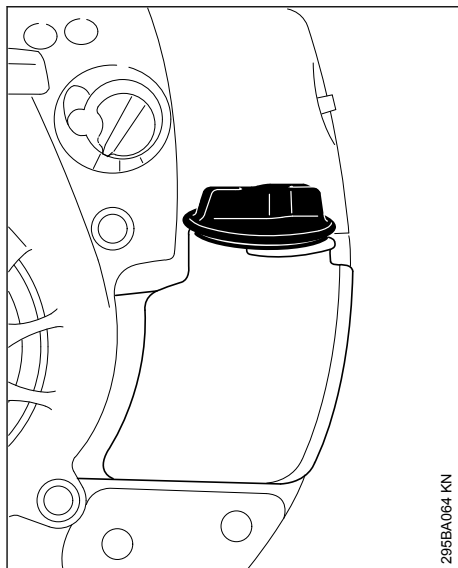
- ▶ 混合燃料を保管する燃料タンクや容器は、ときどき徹底的に清掃してください。

残存する燃料や清掃に使用した液体は、規制に従って環境に害を及ぼさないように廃棄してください!

6 給油



6.1 準備



295BA064 KN

- ▶ 給油する前に、汚れがタンクの中に入るのを防ぐため、フィルターキャップとその周りをきれいにしてください。
- ▶ フィルターキャップが上を向くようにマシンを置いてください。

当社では給油用にスチール フィルター ノズル (特殊アクセサリー) の使用をお勧めします。

6.2 燃料を補填します。

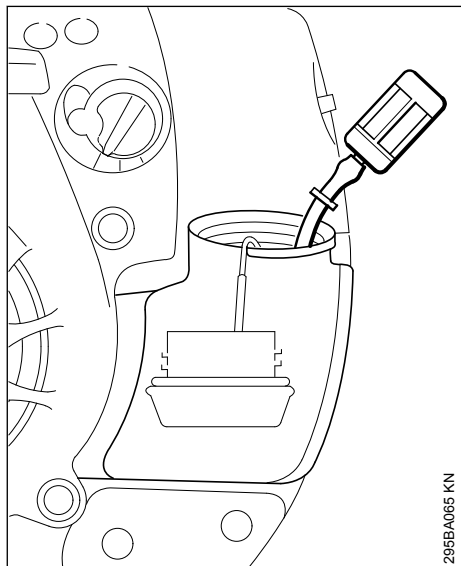
給油の際には燃料をこぼさないようにし、また燃料をタンクからあふれさせないでください。

- ▶ フィルターキャップを開きます。
- ▶ 燃料を補填します。
- ▶ 閉じ方



給油の後は、燃料キャップをできるだけしっかりと閉めてください。

6.3 燃料ピックアップボディの交換



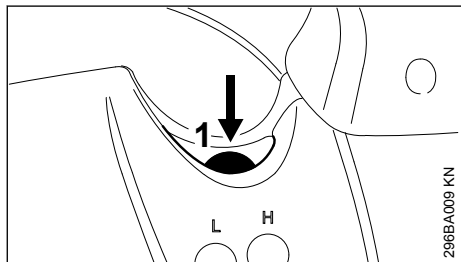
燃料ピックアップボディは毎年交換してください。

- ▶ 燃料タンクを空にします。
- ▶ 燃料ピックアップボディをフックでタンクから引き出し、ホースから外します。
- ▶ 新しいピックアップボディをホースに差し込みます。
- ▶ ピックアップボディをタンクの中に戻します。

7 エンジンの始動と停止

7.1 エンジンの始動

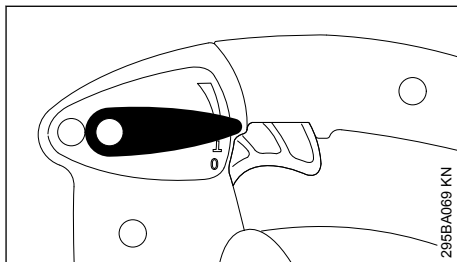
- ▶ 安全注意事項を守ってください。



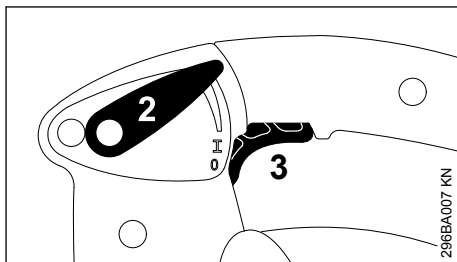
- ▶ 手動燃料ポンプ (1) を最低 5 回押してください - ポンプに燃料が充填されている場合でも、同様の操作を行います。

7.1.1 調整レバーの調整

BG 66 C、BG 86、SH 86 のみ



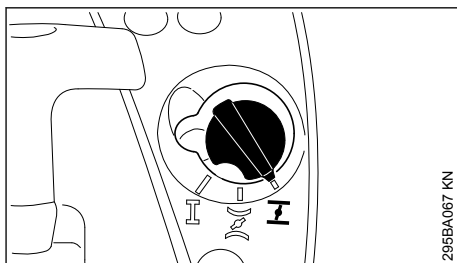
- ▶ 始動するには、調整レバーを運転位置 I に移動します



調整レバー (2) により、作業中にスロットルトリガー (3) を任意の位置にロックできます。

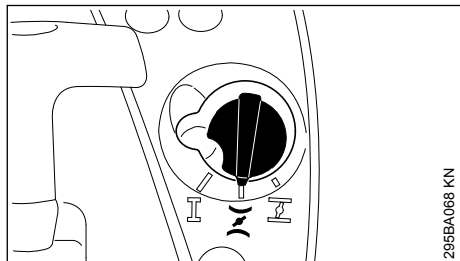
7.1.2 チョークノブの調整

エンジンが冷えている場合



- ▶ チョークノブを II の位置に動かします

エンジンが暖まっている場合

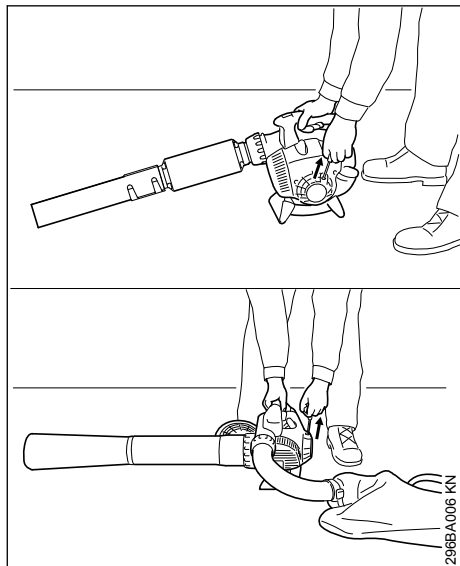


295BA068 KN

- ▶ チョーク ノブを **I** の位置に動かします

エンジンの始動後、温まりきっていない場合もこの位置に移動します。

7.1.3 始動操作



296BA006 KN

- ▶ 安定するように本機を地面に置きます。
- ▶ 安定した足場を保ちます。右手で本機のハウジングをしっかり握り、機械を地面に押しつけます。
- ▶ 左手でスターターグリップを握ります。

エルゴスタート付き機種

- ▶ スターターグリップを徐々に引きます。

エルゴスタートなしの機種

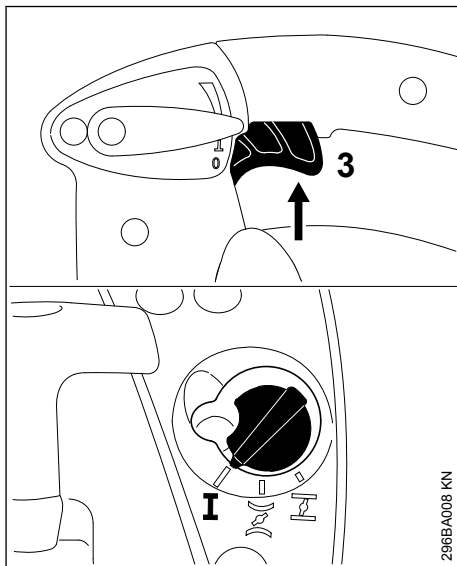
- ▶ スターターグリップをゆっくり引き、かみ合った感じがした時に、素早く勢い良くグリップを引っ張ります。

注記

スターターロープは最後まで引き出さないでください - 切れる恐れがあります。

- ▶ スターターグリップを急に放さないでください。手を添えてハウジングにゆっくりと巻き込むとスターターロープは正しく巻き込まれます。

7.2 エンジンがかかり次第

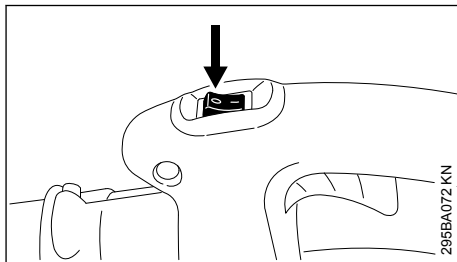


296BA008 KN

- ▶ スロットルトリガー (3) を軽く押します - チョークノブが運転位置 **I** に移動して、エンジンがアイドリング回転に戻ります。

7.3 エンジンの停止

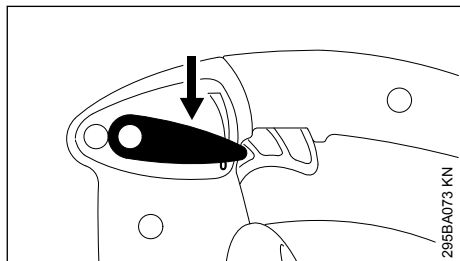
7.3.1 BG 56、BG 66、SH 56



295BA072 KN

- ▶ 停止スイッチを **0** に移動します - エンジンが停止して、停止スイッチが「オン」位置に戻ります。

7.3.2 BG 66 C、BG 86、SH 86



- ▶ 調整レバーを 0 に移動します - エンジンが停止して、調整レバーが「オン」位置に戻ります。

7.4 始動に関するその他の注意事項

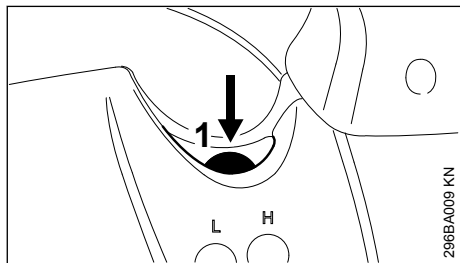
7.4.1 位置 I でエンジンが停止したり加速が不足する場合

- ▶ チョーク ノブを 2 に移動して、エンジンがかかるまで始動動作を繰り返します。

7.4.2 エンジンがかからない場合

- ▶ 全ての設定が正しいこと (チョーク ノブ、調整レバーが運転位置 I にある) を確認します。
- ▶ 始動手順を繰り返します。

7.4.3 燃料タンクが空になるまで運転してから再給油した場合



- ▶ 手動燃料ポンプ (1) を最低 5 回押してください - ポンプに燃料が充填されている場合でも、同様の操作を行います。
- ▶ エンジンを再始動します。

8 エアーフィルターの掃除

エアーフィルターが汚れるとエンジン出力が低下し、燃焼効率が低下します。また始動が困難になります。

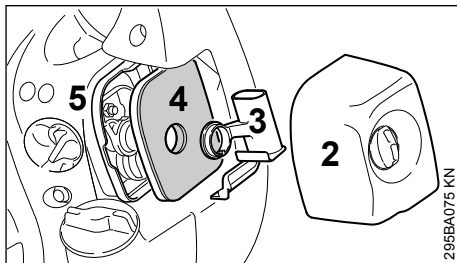
8.1 種々のエアーフィルター

機種によりエアーフィルターが異なることがあります。機種は、フィルターハウジングおよびエアーフィルター自体によって識別することができます。

8.2 フラットフィルター素材を使用する機種



- ▶ フィルターカバーロック (1) を、垂直位置まで反時計回りに回します。
- ▶ フィルターカバー (2) を取り外します。
- ▶ フィルターの周りに付着した汚れを取り除きます。



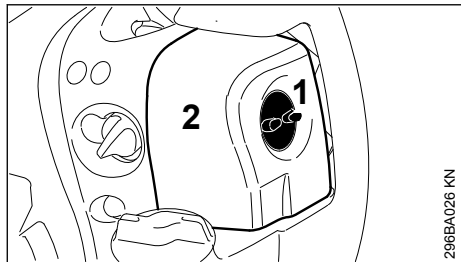
- ▶ リテーナー (3) を抜いて、エアーフィルターエレメント (4) をフィルターハウジング (5) から取り外します。
- ▶ フィルターエレメントを交換します。フィルターを手のひらでたたか、コンプレッサーの空気を吹き付けるなど、一時的に対処することもできますが、水洗いしないでください。

損傷した部品は交換してください。

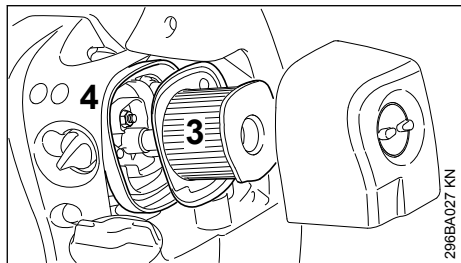
8.2.1 フィルターエレメントの取り付け

- ▶ フィルター (4) をフィルターハウジング (5) に取り付け、リテーナー (3) を所定の位置に押し込みます。
- ▶ フィルターカバー (2) を再び取り付け、フィルターカバーロックを時計回りに水平位置まで回します。

8.3 ひだ付きフィルター素材を使用する機種



- ▶ フィルター カバー ロック (1) を反時計回りに取り外します。
- ▶ フィルター カバー (2) を取り外します。
- ▶ フィルターの周りに付着した汚れを取り除きます。



- ▶ エア フィルター (3) をフィルター ハウジング (4) から取り外します。

8.3.1 エア フィルターの掃除

- ▶ フィルターを手のひらで慎重にたたか、フィルターの内側から外側に向かって圧縮空気を吹き付けます。

フィルターにがんこな汚れが付着したりベトベトしている場合は

- ▶ エア フィルターを、スチール特殊洗浄剤 (特殊アクセサリ) またはきれいな不燃性の溶液 (例:ぬるい石けん水) で洗浄します。フィルターを内側から外側に向かって水を噴射してすぎます - 圧力洗浄機を使用しないでください。
- ▶ フィルターを乾燥します - 高温にさらさないでください。

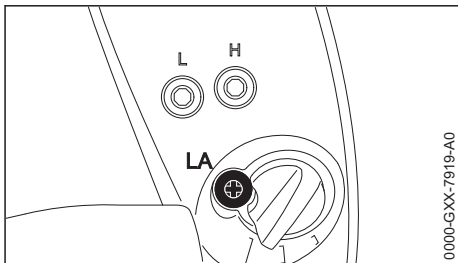
8.3.2 フィルターを所定の位置に置きます。

- ▶ フィルター エレメントをフィルター ハウジングに取り付けます。
- ▶ フィルター カバーを取り付け、フィルター カバー ロックを時計回りに締め付けます。

9 キャブレターの調整

キャブレターは、大抵の運転条件下で混合気が最適化されるよう工場出荷時に設定されています。

9.1 アイドリング回転数の調整



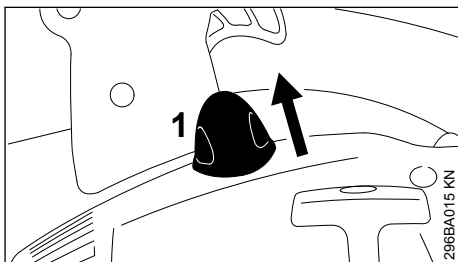
9.1.1 アイドリング回転中にエンジンがストールする

- ▶ エンジンが滑らかに作動するまでアイドルリング回転数調整スクリー (LA) を時計回りに回します。

10 スパーク プラグ

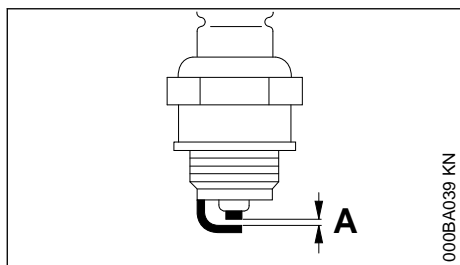
- ▶ エンジンの出力が低下したり、始動しにくくなったりアイドルリングが不安定になったら、先ずスパーク プラグを点検してください。
- ▶ 約 100 時間運転後には新品のスパークプラグと交換してください - 電極が極度に焼損している場合はそれよりも早く交換してください。スチール社が承認した、雑音防止スパークプラグのみをご使用ください - 「技術仕様」の項を参照してください。

10.1 スパーク プラグの取り外し



- ▶ スパーク プラグ ターミナル (1) を抜き取ります。
- ▶ スパーク プラグを緩めます。

10.2 スパークプラグの点検

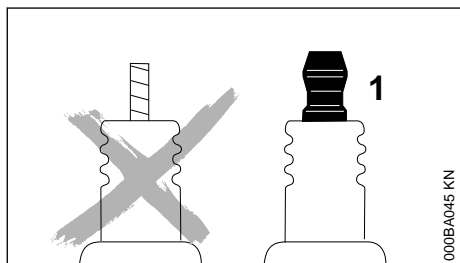


000BA039 KN

- ▶ 汚れたスパークプラグをきれいにします。
- ▶ 電極ギャップ(A)を点検して、必要な場合は調整します - 数値は「技術仕様」の項を参照してください。
- ▶ 以下のような、スパークプラグが汚れる原因を排除してください。

原因：

- エンジンオイル混合量の過多
- エアフィルター汚れ
- 劣悪な使用環境



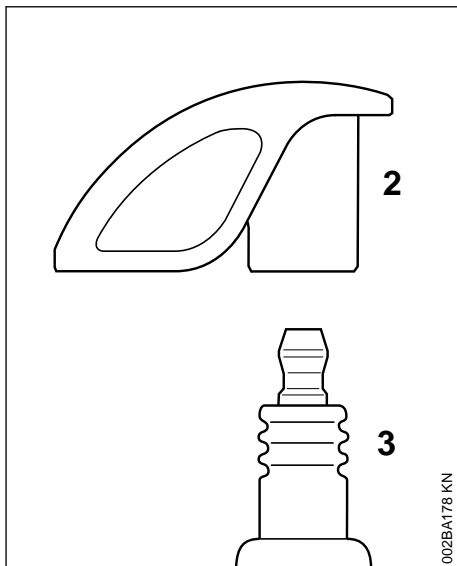
000BA045 KN

! 警告

アダプターナット (1) が緩んでいるか、外れている場合はアークが発生することがあります。発火または爆発が起きやすい環境下で作業を行うと、実際の火災または爆発が発生する恐れがあります。この場合、作業員が重傷を負ったり、建物に損傷を与えたりする可能性があります。

- ▶ 抵抗入タイプスパークプラグを使用し、アダプターナットをしっかりと締め付けてください。

10.3 スパークプラグを取り付けます



002BA178 KN

- ▶ スパークプラグ (3) をシリンダーにねじ込み、ターミナル (2) をしっかり押し込んで取り付けます。

11 エンジンの動作

エアフィルターを掃除してキャブレターを適切に調整しても、エンジンの動作が不十分な場合は、マフラーが原因の可能性がります。

マフラーが汚れていないか (カーボンで詰まる)、スチール サービス店で点検してください。

当社では整備や修理を、認定を受けたスチール サービス店のみに依頼されることをお勧めします。

12 機械の保管

機械を約 30 日以上使用しない場合

- ▶ 換気の良い場所で燃料タンクを空にし、洗浄します。
- ▶ 燃料は、地域の環境規制に従って処分してください。
- ▶ 手動燃料ポンプが装着されている場合: 手動燃料ポンプを最低 5 回押してください。
- ▶ エンジンを始動し、エンジンが停止するまでアイドリングを続けます。
- ▶ 特にシリンダーフィンやエアフィルターに注意して、機械を丁寧に清掃してください。
- ▶ 機械を乾燥した安全な場所に保管してください。(子供など) 承認されていない人が使用しないように確保してください。

13 整備表

以下の整備間隔は、標準的な作業条件用です。毎日の作業時間が長い、作業条件が過酷な場合(粉塵が極端に多い場所等)は、指定された間隔をそれに応じて狭めてください。		前 作業 開始 直後	毎日 作業 終了 後	毎日 作業 終了 後	毎 週	毎 月	毎 月	12 カ 月 毎	故 障 時	損 傷 時	必 要 な 場 合
機械本体	目視検査(状態、摩耗、漏れ)	X		X							
	清掃		X								
コントロールハンドル	作動点検	X		X							
エアフィルター	清掃								X		X
	交換									X	X
手動燃料ポンプ(装着されている場合)	点検	X									
	修理はサービス店に依頼してください ¹⁾									X	
燃料フィルター	点検								X		
	フィルターの交換						X			X	X
燃料タンク	清掃							X		X	
キャブレター	アイドル設定の点検	X		X							
	アイドル調整										X
スパークプラグ	電極ギャップの再調整								X		
	100 運転時間ごとに交換										
マフラーのスパークアレスタースクリーン ²⁾	インストールされているか確認	X									
	点検または交換 ¹⁾						X				
冷却風吸入部	清掃										X
すべての手の届くスクリーンとナット(調整スクリーンを除く)	締め直し										X
防振装置	点検	X							X		X
	交換はサービス店に依頼してください ¹⁾									X	
安全ラベル	交換									X	

14 磨耗の低減と損傷の回避

本取扱説明書の記述を遵守して使用すると、機械の過度の磨耗や損傷が回避されます。

本機の使用、整備並びに保管は、本取扱説明書の記述に従って入念に行ってください。

特に以下の場合のように、安全に関する注意事項、取扱説明書の記述内容及び警告事項に従わずに使用したことによる全ての損傷については、ユーザーが責任を負います：
 - スチールが許可していない製品の改造。

¹⁾ 当社では、本作業をスチール サービス店で実施されることをお勧めします。

²⁾ すべての機種には該当せず、国により異なります

- 当製品への適用が承認されていない、適していない、または低品質のツールやアクセサリーの使用。
- 指定外の目的に当製品を使用。
- スポーツ或いは競技等の催し物に当製品を使用。
- 損傷部品を装備したままで当製品を使用したことから生じる派生的損傷。

14.1 整備作業

「整備表」に列記されている作業は、必ず全て定期的に行ってください。整備作業を使用者が自ら行えない場合は、サービス店に依頼してください。

当社では整備や修理を、認定を受けたスチール サービス店のみに依頼されることをお勧めします。スチール サービス店には定期的にトレーニングを受ける機会が与えられ、必要な技術情報の提供を受けています。

上記整備作業を怠ったことが原因で生じた以下のような損傷に対しては、上記の例として、以下の部品が挙げられます：

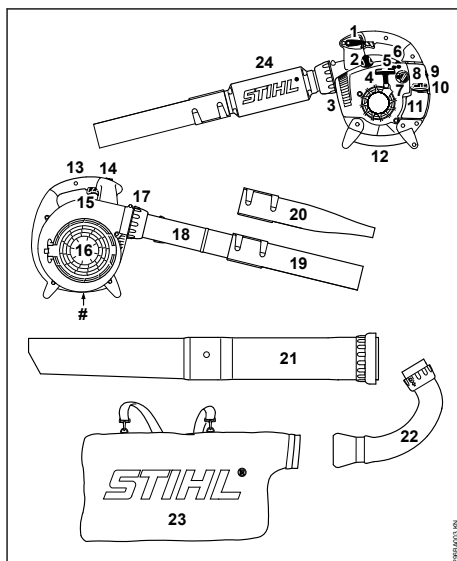
- 指定された時期に実施されなかった整備や不十分な整備(例：エアフィルター、燃料フィルター)、不適切なキャブレターの調整または不十分な冷却空気経路の掃除(エア吸入スリット、シリンダーフィン)が原因で生じたエンジンの損傷。
- 不適切な保管に起因する腐食およびその他の派生的損傷。
- 低品質の交換部品を使用したことによる本機の損傷。

14.2 磨耗部品

パワーツールの部品によっては、規定通りに使用しても通常の磨耗は避けられません。これらの部品は、使用の種類や期間に合わせて適時に交換してください。上記の例として、以下の部品が挙げられます：

- フィルター (エアフィルター、燃料フィルター)
- ブロワー ホイール、シュレッダー ホイール
- 集塵バッグ
- リワインドスターター
- スパークプラグ

15 主要構成部品



- 調整レバー (BG 66 C、BG 86、SH 86)
- スパークプラグターミナル
- マフラー
- スターターグリッブ
- アイドルリングスピード調整スクリュー (LA)
- 手動燃料ポンプ
- チョークノブ
- フィルターカバー
- スクリュー-フィルターカバー
- タンクキャップ
- 燃料タンク
- ハンドル
- コントロールハンドル
- 停止スイッチ (BG 56、BG 66、SH 56)
- スロットルトリガー
- 吸気スクリーン
- ユニオンナット
- ブロワーチューブ (BG 56、BG 86、SH 56)
- ラウンドノズル
- ファンノズル*
- 吸引チューブ*
- エルボー*
- 集塵バッグ*

24 ブローチェーンブサイレンサー (BG 66)**# 機械番号**

* バージョンによります - 特殊アクセサリ

16 技術仕様**16.1 エンジン**

単気筒 2 ストロークエンジン

排気量: 27.2 cm³
 シリンダー径: 34 mm
 ピストンストローク: 30 mm
 アイドリング回転数: 2500 1/min

ISO 7293 に準拠した出力:

BG 56: 0.7 kW (1.0 PS)
 BG 66: 0.6 kW (0.8 PS)
 BG 86: 0.8 kW (1.1 PS)
 SH 56: 0.7 kW (1.0 PS)
 SH 86: 0.8 kW (1.1 PS)

16.2 イグニッションシステム

エレクトロニックマグネイトイグニッション

スパークプラグ(雑音防止) NGK CMR 6H,
BOSCH USR 4AC

電極ギャップ: 0.5 mm

16.3 燃料システム

燃料ポンプ搭載全方向ダイヤフラム式キャブレター

燃料タンク容量:

BG 56: 540 cm³ (0.54 l)
 BG 66: 540 cm³ (0.54 l)
 BG 66 C: 440 cm³ (0.44 l)
 BG 86: 440 cm³ (0.44 l)
 SH 56: 540 cm³ (0.54 l)
 SH 86: 440 cm³ (0.44 l)

16.4 ブロー性能

吹き出し力 (ラウンドノズル)

BG 56: 13 N
 BG 66: 10 N
 BG 86: 15 N
 SH 56: 15 N
 SH 86: 15 N

風速 (ブローモード)

ブローモード (ラウンドノズル)

BG 56: 60 m/s
 BG 66: 51 m/s
 BG 86: 63 m/s
 SH 56: 60 m/s
 SH 86: 63 m/s

ブローモード (フラットノズル)

BG 56: 70 m/s
 BG 86: 74 m/s
 SH 86: 74 m/s

風量

	ラウンドノズル	フラットノズル
BG 56:	700 m ³ /h	560 m ³ /h
BG 66:	630 m ³ /h	---
BG 86:	755 m ³ /h	620 m ³ /h
SH 56:	700 m ³ /h	560 m ³ /h
SH 86:	755 m ³ /h	620 m ³ /h

最大風速 (ブローモード)

	ラウンドノズル	フラットノズル
BG 56:	71 m/s	82 m/s
BG 66:	62 m/s	---
BG 86:	76 m/s	---
SH 56:	71 m/s	---
SH 86:	76 m/s	---

BG 56: 730 m³/hBG 66: 730 m³/hBG 86: 810 m³/hSH 56: 730 m³/hSH 86: 810 m³/h**16.5 重量**

BG 56: 4.1 kg
 BG 56 C: 4.1 kg
 4.5 kg
 BG 66 D C: 4.8 kg
 BG 86: 4.4 kg
 BG 86 C: 4.4 kg

燃料なし、吸込モード

SH 56: 5.4 kg
 SH 56 C: 5.4 kg
 SH 86: 5.8 kg
 SH 86 C: 5.8 kg

16.6 騒音・振動数値

振動に関する事業者への指令 2002/44/EC の遵守の詳細については、

www.stihl.com/vib をご覧ください。**16.6.1 DIN EN 15503 に準拠した音圧レベル**

	ブローモード	吸引モード
BG 56 :	90 dB(A)	94 dB(A)
BG 66 :	86 dB(A)	---
BG 86 :	90 dB(A)	93 dB(A)
SH 56 :	90 dB(A)	94 dB(A)

	ブローモード	吸引モード
SH 86 :	90 dB(A)	93 dB(A)

16.6.2 DIN EN 15503 に準拠した音響出力レベル L_w

	ブローモード	吸引モード
BG 56 :	104 dB(A)	105 dB(A)
BG 66 :	98 dB(A)	---
BG 86 :	104 dB(A)	106 dB(A)
SH 56 :	104 dB(A)	105 dB(A)
SH 86 :	104 dB(A)	106 dB(A)

16.6.3 DIN EN 15503 に準拠した振動値 a_{hv} , eq

ブローモード

	右ハンドル
BG 56:	8.0 m/s ²
BG 66:	7.8 m/s ²
BG 66 C :	2.1 m/s ²
BG 86:	2.5 m/s ²
SH 56:	8.0 m/s ²
SH 86 :	2.5 m/s ²

吸引モード

	左ハンドル	右ハンドル
BG 56:	9.1 m/s ²	8.0 m/s ²
BG 86:	2.5 m/s ²	1.9 m/s ²
SH 56:	9.1 m/s ²	8.0 m/s ²
SH 86:	2.5 m/s ²	1.9 m/s ²

指令 2006/42/EC に準拠した K-係数は、音圧レベルおよび音響出力レベルについて 2.0 dB(A) です。指令 2006/42/EC に準拠した K-係数は、振動加速度について 2.0 m/s² です。

16.7 REACH

REACH は EC の規定で、化学物質 (Chemical substances) の登録 (Registration)、評価 (Evaluation)、認可 (Authorisation)、規制を意味します。

REACH 規定 (EC) No.1907/2006 の遵守の詳細については、以下をご覧ください。

www.stihl.com

16.8 排気ガス

EU 型式認定手順で測定された CO₂ 値は、以下に記載されています -

www.stihl.com/co2

(製品ごとの技術データ)。

CO₂ 測定値は、代表的なエンジンを実験室の環境下で標準的な試験手順に従って測定した結果であり、特定のエンジンの性能を明示的、暗示的に保証する数値ではありません。

適用される排気ガス規制の要件は、本書に記載されている方法で機械を使用し、整備することによって満たされます。いかなる方法であれエンジンを改造すると、使用許可は無効になります。


17 整備と修理

本機を使用する方が実施できる保守および整備作業は、本取扱説明書に記述されていることだけです。それ以外の修理はすべてサービス店に依頼してください。

当社では整備や修理を、認定を受けたスチール サービス店だけに依頼されることをお勧めします。スチール サービス店には定期的にトレーニングを受ける機会が与えられ、必要な技術情報の提供を受けています。

修理時には、当社が本機への使用を承認した、または技術的に同等な交換部品だけをご使用ください。高品質の交換部品のみを使用して、事故および本機の損傷を回避してください。

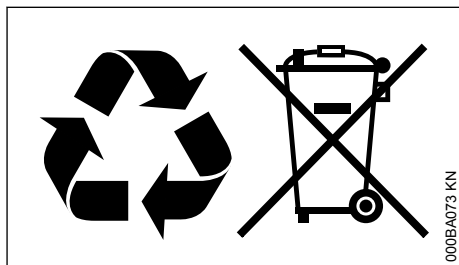
当社ではスチール オリジナルの交換部品のご使用をお勧めします。

スチール純正部品には、スチール部品番号、**STIHL** ロゴマークおよびスチール部品シンボルマーク  が刻印されています。(小さな部品では、シンボルマークだけが刻印されているものもあります。)

18 廃棄

廃棄に関する情報については、最寄りの行政機関または STIHL サービス店へお問い合わせください。

不適切な廃棄は、健康被害や環境汚染の原因になるおそれがあります。



- ▶ 現地の規制に従い、パッケージを含む STIHL 製品を適切な回収場所へ持ち込み、リサイクルしてください。
- ▶ 家庭ごみと共に廃棄しないでください。

19 EC 適合証明書

ANDREAS STIHL AG & Co. KG
Badstr. 115

D-71336 Waiblingen

Germany (ドイツ)

は、単独の責任において

モデル:

製造ブランド:

タイプ:

ブローワー・バキュー
ムシユレッターSTIHL
BG 56
BG 56 C
BG 56 C-E
BG 66
BG 66 C
BG 66 C-E
BG 86
BG 86 C
BG 86 C-E
SH 56
SH 56 C
SH 56 C-E
SH 86
SH 86 C
SH 86 C-E
4241

シリアル番号:

排気量:

27.2 cm³

指令 2011/65/EU、2006/42/EC、2014/30/EU、
2000/14/EC の関連する条項に適合しており、
以下の規格のそれぞれ製造時点で有効であった版
に準拠して開発および製造されたことを保証い
たします:

EN ISO 12100、EN 15503、EN 55012、
EN 61000-6-1

音響出力レベルの測定値および保証値は、ISO
11094 規格を適用の下、指令 2000/14/EC の付属
書 V に準拠して算出しています。

音響出力レベル測定値

すべての BG 56 : 102 dB(A)
すべての BG 66 : 99 dB(A)
すべての BG 86 : 102 dB(A)
すべての SH 56 : 103 dB(A)
すべての SH 86 : 103 dB(A)

音響出力レベル保証値

すべての BG 56 : 104 dB(A)
すべての BG 66 : 101 dB(A)
すべての BG 86 : 104 dB(A)
すべての SH 56 : 105 dB(A)
すべての SH 86 : 105 dB(A)

技術文書の保管:

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

Produktzulassung

製品の製造年と機械番号は、機械本体に表示され
ています。

2022年8月1日、Waiblingenにて発行

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

代理人



Robert Olma, Vice President, Regulatory Affairs
& Global Governmental Relations


20 UKCA 適合宣言

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

Badstr. 115

D-71336 Waiblingen

Germany (ドイツ)

は、単独の責任において

モデル:

製造ブランド:

タイプ:

ブローワー・バキュー
ムシユレッターSTIHL
BG 56
BG 56 C
BG 56 C-E
BG 66
BG 66 C
BG 66 C-E
BG 86
BG 86 C
BG 86 C-E
SH 56
SH 56 C
SH 56 C-E
SH 86
SH 86 C
SH 86 C-E
4241

シリアル番号:

排気量:

27.2 cm³

英国規則 The Restriction of the Use of Certain
Hazardous Substances in Electrical and
Electronic Equipment Regulations 2012、Supply
of Machinery (Safety) Regulations 2008、
Electromagnetic Compatibility Regulations 2016、
Noise Emission in the Environment by
Equipment for use Outdoors Regulations 2001
の関連する条項に適合しており、製造日時点で有
効であった以下の規格のバージョンに準拠して
開発および製造されたことを保証いたします:

EN ISO 12100、EN 15503、EN 55012、
EN 61000-6-1

音響出力レベルの測定値および保証値は、
ISO 11094 規格を適用の下、英国規則「Noise
Emission in the Environment by Equipment for
use Outdoors Regulations 2001, Schedule 8」に
準拠して算出しています。

音響出力レベル測定値

すべての BG 56 :	102 dB(A)
すべての BG 66 :	99 dB(A)
すべての BG 86 :	102 dB(A)
すべての SH 56 :	103 dB(A)
すべての SH 86 :	103 dB(A)

音響出力レベル保証値

すべての BG 56 :	104 dB(A)
すべての BG 66 :	101 dB(A)
すべての BG 86 :	104 dB(A)
すべての SH 56 :	105 dB(A)
すべての SH 86 :	105 dB(A)

技術文書の保管：

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

製品の製造年と機械番号は、機械本体に表示されています。

2022年8月1日、Waiblingenにて発行

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

代理人



Robert Olma, Vice President, Regulatory Affairs
& Global Governmental Relations

UK
CA

21 アドレス

www.stihl.com

www.stihl.com



0458-296-4321-G



0458-296-4321-G